

キャスターによる床材への影響について

近年、病院及び介護施設などで使用されている医療用ベッドのキャスターが床材と接触する部分に、膨れや破損が発生する事例が報告されています。



独自試験による検証の結果、キャスターにロックを掛けた状態で人の乗り降りによって繰り返し生じる寸動、あるいはベッドの移動旋回などによるねじれの力の発生など、さまざまな要因が複合的に作用したものと考えられます。この事象につきましては今後も多角的な検証・改善が必要ですが、当面、同様の事象の発生を軽減するために有効と思われる対策を以下にご紹介します。

- 商品選定においては使用環境を考慮し、できる限り耐動荷重性能の高い床材をご選定ください。
- 施工の際は、下地が平滑で十分に乾燥した状態であり、十分な強度があることを確認してください。必要に応じて、荷重用EPプライマー（BB-600）を塗布してください。一般的な下地水分レベルと施工方法の目安の組み合わせは下表の通りですが、特に日常的な重量物の移動・搬送などによる負荷が想定される場所に関しては、下地の水分レベルがグレードⅠの場合でも、**エポキシ・ウレタン樹脂系接着剤**を適切な塗布量で使用し、十分に圧着してください（より接着強度に優れるEP-300をおすすめします）。

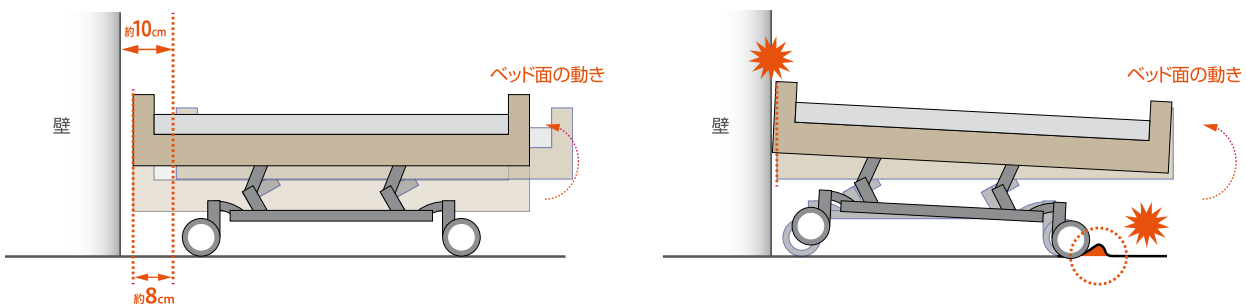
水分計*			水分計以外での確認方法		施工方法の目安
グレード	選択 Dモード	従来水分指標	ポリエチレンフィルム	パーナー	
Ⅰ	440未満	8%未満	24時間後変化なし	下地表面に変化なし	一般工法
Ⅱa	440以上 620未満	8%以上 10%未満	24時間後黒ずみ（輪郭不明瞭）	下地表面が黒ずむ	耐湿工法推奨
Ⅱb	620以上	10%以上	24時間後に変色結露が見られる	下地表面に水滴が浮く	施工不可

*使用水分計：株式会社ケツト科学研究所 高周波静電容量式水分計「HI-540」Dモード選択による

- ベッドの取り扱い、ベッドメーカーの定める取扱い説明書の内容に従って正しくご使用ください。
例 ・ 壁面から適切な距離（目安10cm）を開けて設置してください。
・ キャスターをロックしたままベッドをずらしたり動かしたりしないでください。

○ 壁から離れる方向に最大で約8cm
押し出される動きに対応できるスペース。

✗ ベッドの高さが中間位置で設置され壁との距離がない場合、昇降時に押し出される動きによって、ロックされたキャスター部分と床面に負荷がかかる。



- ベッドのキャスターが接地する部分に当て板を用いることで床材にかかる負担を軽減できます。

ただし、これらの対策も床材の膨れ、破損を確実に防止できるものではなく、あくまでも問題の発生を軽減する方法のひとつとしてご認識ください。

床材に求められる「耐動荷重性」と「衝撃吸収性」の両立は、現時点では非常に困難なものと言わざるを得ませんが、弊社では今後も引き続きこの問題解決に向けた検証や商品開発に取り組んでまいります。

床材を安心してご使用いただくために

床材には素材ごとの性質があります。以下に素材別の一例を紹介します。事前にご確認いただくことで事故防止につながります。

■ビニル系床材のゴム汚染

ゴム製品に含まれる油や老化防止剤などがビニル系床材表面に移行し、茶色や黄色に変色する現象です。ゴム製品の油や老化防止剤とビニル系床材に含まれる可塑剤が反応して発生します(荷重の度合いによっても異なります)。

ビニル系床材とゴム製品の間には保護シート(アルミ製・ポリエステル製)を使用し、直接接触させないことで変色を防ぐことができます。

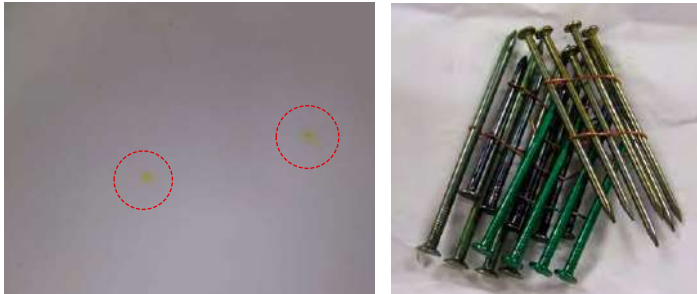
■下地からの汚染

ワックス・グリス・油脂類・塗料などの「汚れ」や、下地のクギ頭の錆、カラー連結釘などの着色剤、ペン・ラッカー・チョークなどによる「マーキング」が下地に残留していることにより、接着不良→汚染・変色が発生する可能性があります。

また、配管用接着剤が下地に残留していることにより変色が発生する可能性もあります。

これらは、施工前に下地から完全に除去いただくことで、上記不具合を防ぐことができます。

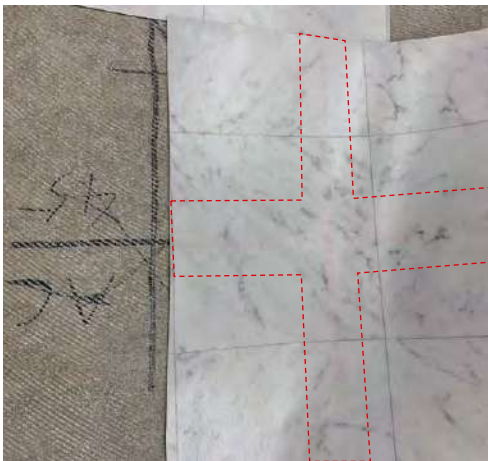
●下地固定に打たれたワイヤー連結釘に着色されている着色剤がフロアタイル表面に移行した事例



ワイヤー連結釘とはフィニッシュネイラー(釘打機)に装填しやすいようワイヤーで連結された釘のことで、長さや種類などが判別できるように着色されている事があり、その着色剤が床材表面まで浸透し、浮き上がってくる症状です。

対策：床下地に色が付いた釘が使用されている場合は、着色部分を除去した上で施工する。

●床下地に書かれたマーキングが施工後に床材に浮き上がってきた事例



床下地に黒色のマジック等で書かれた十字の模様が、施工後、床材表面にシミとなって浮き上がってくる症状。マーカーなどのインク(染料・顔料)が床材に含まれる可塑剤と反応し、床材の表面まで上がってきます。

対策：床下地のマーカーの種類が分からない場合は除去した上で施工する。または床材を汚染しないマーカー、スプレーを使用する。

推奨品：サクラクレパス社水性顔料マーカー「ピグマックス」、工業用スプレー「ピグマックス スプレータイプ」



※「ピグマックス」はサクラクレパス社の登録商標です。

■フロアタイルの突き上げ

フロアタイルには温度変化で伸縮する特性があります。接着剤が十分な接着力を発揮する前に、急激な温度変化（低温から高温）によってフロアタイルが伸び、突き上げる場合があります。

低温時（10℃以下）の対策として、室内をジェットヒーターなどで暖める、また現場の室温を一定にしてフロアタイルを室温になじませ直射日光を遮断するなど、施工中や施工後の養生期間中の現場の室温を一定に保つよう to してください。



■カーペットタイルのジョイント

主に柄物カーペットタイルは、ロール状の原反をランダムに 50cm 角等の規格サイズに裁断するため、1 枚 1 枚の色柄に変化と濃淡の差があり、その割合が異なります。

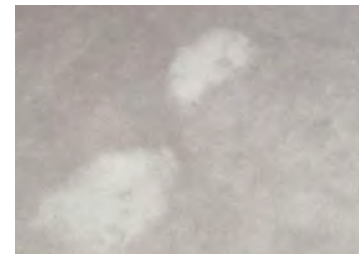
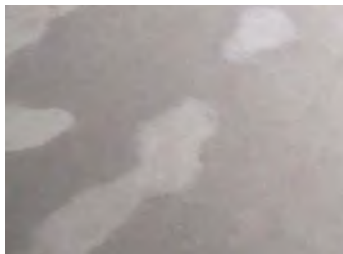
施工後、仕上がりに違和感がある場合は、部分的に入れ替えを行なっていただき、全体のバランスをとってください。



■繊維床材のくも現象

カットパイルの商品は施工後に波状・雲状・島状のムラに見える部分が発生することがあります。これは「くも現象」「シェーディング」と呼ばれ、その部分のパイルが他の部分と異なった方向に倒れることにより、光線等の影響を受けムラに見える現象です。商品の欠陥ではなく、パイル形状の特性による外観上のものであり、品質に影響を及ぼすものではありません。

対策方法としては、ループパイル及びカット&ループパイル商品、またはカットパイルであれば強撚糸の商品を選定いただくことで目立ちにくくなります。



Sフロア・ホームフロア・ノンスキッド 取扱上のご注意

※ホームフロアの一部商品はP.566～568参照

選択上のご注意

- ノンスキッド見本帳掲載品以外は屋内用の床材です。屋外や半屋外では使用できません。
- 物性試験データは、商品の耐久性を示す目安です。選択の際には商品の耐久性以上の用途のご使用はお避けください。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認ください。
- 暗所、アルカリ性雰囲気、高温多湿環境下において、床材が変色する可能性があります。このような場所へ床材を施工する際には、変色が発生しても目立たない濃色系の床材を選択することをおすすめします。
- 抗菌性を求められる場所では、抗菌マークのある商品をお選びください。人体に影響が少ない抗菌剤を使用していますが、乳幼児が誤って経口する可能性のある場所での使用はお避けください。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。また、フラットな表面形状に比べてエンボスが深いほど汚れが残りますのでお含みおさください。

運搬ならびに保管上のご注意

- 重量物ですので取り扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取り扱いは、床材の破損だけでなく、傷や器物破損などを招く場合があります。
- 縦置きの場合はロープなどで固定し、転倒防止を図ってください。横置き保管の場合は、積積みをお避けください。
- ご注文の際は、長さが9m巻(約45kg)を超える場合、配送が困難になりますのでご相談ください。

施工上のご注意

- 梱包紙に記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認のうえ、施工を開始してください。同一床面上は、同ロットで仕上げてください。
- 幅継ぎをする際は、耳部どうしてジョイントしてください。ジョイント施工が不十分な場合、継ぎ目が破断することがあります。
- 目地入りの商品をジョイントして施工する際、商品の特性上目地が合わない場合がありますので、特に広い面積で施工する場合には割り付けにご注意ください。
- 各商品別に、施工上の注意・接着剤などが異なりますので、商品掲載ページの施工上の注意をご参照ください。また施工する場所の環境や下地の状態により、接着剤や施工方法が異なる場合がありますのでご注意ください。
- 下地は平滑かつ清潔で乾燥して、良好な圧縮及び引張り強度があり、接着力を低下させるような構造的欠陥がないようにしてください。多孔質でもよい下地や粉っぽい下地はプライマー処理を行ってください。
- 不陸は適切なコンパウンドで補修してください。
- 鋳物ベースの下地(モルタル・コンクリートなど)で、新規あるいは土間床の場合は下地水分を測定してください。コンパウンドや接着剤は床仕上げ材と同様に適切な皮膜もしくはその他の方法で高い残留水分や下地の湿気から遮断しておく必要があります。
- 下地にワックス・グリス・油脂類・塗料などの汚れ、ペン・ラッカーによるマーキングなどが残っていると、接着不良や汚染、変色を発生させる可能性がありますので、完全に除去してください。
- 床材は現場の室温よくなじませてから施工してください。室温と床材に温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地隙・突き上げなどをおこすことがあります。
- 接着の際は、床材の指定接着剤を使用し、接着剤指定のくし目こてで均一に塗布し十分に圧着してください。
- 重量物の移動が想定される場合、下地水分グレードがI(一般工法レベル)の場合でも、耐湿工法用接着剤をご使用ください。
- 有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し室内の換気が心がけ、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行ってください。有機溶剤は引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- 施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。
- 施工後、接着剤が十分硬化するまでは、直射日光や冷暖房などによる急激な温度変化はお避けください。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので十分な養生期間をとってください。
- 施工直後に養生シートを使用した場合、床材と養生シートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、床材の反り・突き上げなどが生じる可能性があります。養生シートは、接着剤が十分硬化してから使用してください。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼り付けしないでください。床材を汚染する原因となります。
- これらの施工条件が満たされない場合は、目地隙や突き上げ、膨れなどを招く可能性があり、美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因となります。
- 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。包装紙・紙管などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分してください。ビニル床材を燃やすと有害ガスが発生する場合があります。
- クッションフロアは裏面にガラス基材を使用していますので、直接皮膚に触れないようご注意ください。万一、刺激を感じた場合はせっけんなどでよく洗い流してください。また、目が痛む時もこすらずに水でよく洗い流してください。
- 防水層の上に敷設される押さえコンクリートは水分が抜けにくく、多量の水分を含んでいる場合があります。この状態で床材を施工すると、押さえコンクリートを床材で蓋をする状態となるため、逃げ場を失った押さえコンクリートに含まれる水分が床材を持ち上げて膨れが生じますので施工をおすすめできません。

維持管理ならびに使用上のご注意

- 温風ヒーター吹き出し口にはマットを設置するなどして、温風が直接床材表面に当たらないことをお避けください。
- 長期間使用しない部屋では換気を心がけてください。結露を招き、カビや異臭の発生、床材の割れ・反り・膨れ・突き上げの可能性があります。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけてください。
- 床材の汚れのほとんどは水拭きでとれます。ほうきや掃除機でゴミを取り除いた後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- クッションフロアの表面にベタつきを感じる時はクリーナーで除去してください。
- しつこい汚れはクリーナーで洗浄し、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- エンボスに入り込んだ汚れは、ブラシなどで掻き出すように清掃してください。
- 各床材に応じたメンテナンスを行うことにより、汚れもつきにくくなります。ワックスにより床材との相性が異なりますので、選定の際にはご注意ください。
- 水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。泥よけマットの設置などで雨水や土砂の持ち込みを防止し、持ち込まれた際には即座に除去するようにしてください。
- 霜が降りた状態や床材表面に溜まった水が凍結した状態、降雪時や圧雪時など通常使用と異なる状態では特にすべりやすくなります。
- 長時間直射日光があたる場所では、変退色する可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。
- 家具やハイヒールなどの局部荷重により凹み跡が残る場合があります。
- インクやソース、化学薬品などをこぼしたときは、すぐに濡れたぞうきんで拭き取ってください。
- クッションフロアはワックスとの密着性が劣りますので、ワックスがけはおすすめしません。クッションフロアは弾力性が高く歩行などにより変形しやすいためワックス皮膜が追従しきれず、ワックス皮膜の割れや剥がれが生じる場合があります。
- クッションフロアはキャスト走行や歩行頻度の高い場所では膨れが発生する可能性がありますので、ご使用をお控えください。
- ワックスメンテナンスが可能な床材は、ワックスがけをすることで、床材の消臭機能が発揮されなくなります。
- 雨水やエアコンなどの排水が溜まったまま放置された状態が続くと、床材の劣化が促進されますので、適切な勾配をとり定期的なメンテナンスを実施してください。
- ノンスキッド・エアコン排水目地(蓋付きタイプ)は排水目地を清掃しやすいよう蓋の着脱が可能です。使用環境により素材の特性上、蓋の伸縮が発生する可能性があります。

変色について

- 床材は、熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや、車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどはお避けください。
- 化学薬品や強い作用をもつ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く場合があります。
- 水、砂、紫外線、重量物、灯油、ペットの糞尿、植物に使用する化学肥料、火山灰、塩分、鉄粉、さび水、テープの粘着剤などの影響で、床材自体の変質・変退色や白化、施工後の膨れ・割れ・目地隙などがおこる場合があります。これら汚染物質を定期的に除去できるようメンテナンスはこまめに実施してください。
- ゴム素材に含まれる老化防止剤、家具の塗料や防腐剤・防虫剤・防蟻剤によって、床材が汚染され変退色する可能性があります。使用を避けるか、床材に直接ふれないようにしてください。
- 靴の擦れによる汚れが付着するおそれがありますので、特にゴム底の場合はご注意ください。
- 火山灰などを放置すると、べたつきや汚れ、変色、劣化の促進が発生する場合があります。
- 床材の表面に水分が長時間滞留する状態が続くと床材表面が白っぽく変色することがあります。この変色が発生した場合、十分に乾燥させることで元の状態に戻りますが、水分が長時間滞留しないようメンテナンスを実施してください。

キズについて

- 重量物の引きずり、ハイヒールや傘、ペットの爪など鋭利な物での突き刺しや引きずりにより床材が傷つくことがあります。
- 重量物や車輪のしごきによって、床材の表面を傷つけたり、膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようご注意ください。
- 家具やハイヒールなどの局部荷重により凹み跡が残る場合があります。

【とがった物や重量物に注意】

鋭利な物やハイヒールなどのかかとの引きずり、靴底での小石の擦り、家具など重量物の局部荷重を受ける、表面キズや圧痕等が残る可能性がありますのでご注意ください。



タイパ等のゴム製品が床材と接する際は保護シート(アルミ製・ポリエチレン製)をご使用ください。

フロテックスシート、スタイルキットプラス

フロテックスシート 選択・施工上のご注意

- 屋内用の床材です。屋外や半屋外では使用できません。
- サンプル帳の見本と製品の色、また写真と実際の商品では色や質感が異なる場合がありますが、ご了承ください。実物サンプル等でお確かめください。
- 濃色はチリやホコリが目立ちますのでご注意ください。
- 下地から絶えず湿気の上昇がある場所では使用を避けてください。施工後に臭気が発生するおそれがあります。
- 梱包紙に記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認のうえ、施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください。

スタイルキットプラス 選択・施工上のご注意

- 屋内用の床材です。屋外や半屋外では使用できません。
- 住宅用途以外では使用しないでください。歩行量の多いところで使用すると、商品の品質に問題が生じるおそれがあります。
- 防ダニ、抗菌等の表示は加工処理の有無を示しています。床材だけでお部屋を完全に防ダニ、抗菌にすることはできません。お掃除や換気等、日常のメンテナンスに配慮してください。また、人体に影響の少ない薬剤を使用していますが、乳幼児が誤って口に含むことのないようご注意ください。
- 写真と実際の商品では色や質感が異なる場合がありますが、ご了承ください。実物サンプル等でお確かめください。
- 濃色はチリやホコリが目立ちますのでご注意ください。
- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認のうえ、施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください。
- コンクリート系の下地では使用しないでください。
- 目地にパイルを挟まないようご注意ください。目地隙や段差の原因となります。
- 下地の汚れを完全に除去して施工してください。接着不良のおそれがあります。
- 貼り方は、商品ごとの推奨施工をご参照ください。
- 推奨施工以外で施工すると、目地の出方が不自然に目立つ場合があります。施工前に必ずご確認ください。
- 下地は湿気のない平坦かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工環境が整わなかった場合、目地隙や突き上げ、膨れ、臭気、はがれ等を招く場合があります。

Sフロア・ホームフロア・ノンスキッド機能性マークの一覧

	ワックスフリーコーティングにより、ワックスをかけることなく、美観を維持できます。		表面に細かいエンボスを施すことで素足で歩行した時でもベタつきが少なく、足ざわりの良い、さらっとした仕上がりとなっています。
	緻密な単層構造により、汚れや薬品が入り込みにくく、高い防汚性を実現しています。表面に細かな傷が生じても、パフィングにより防汚機能が再生します。		犬を対象としたすべり試験にて、C、S、R・Dが0.4以上の優れた防滑性が確認された床材です。
	JIS A 1454 耐汚染性試験にて試験片に有効塩素濃度6%次亜塩素酸ナトリウムを滴下し、24時間放置した結果、表面に変化が見られなかった商品です。		床暖房にも対応した床材です。
	JIS A 1454 耐汚染性試験にて試験片に試薬を滴下し、24時間放置した結果、表面の変化が少ない商品です。		表面強度を持たせた構造で、土足使用にも耐えられます。日本農林規格耐摩耗A試験でも一般的なフローリングや塩ビタイルなどよりも摩耗の少ない床材です。
	JIS A 1454 耐キヤスター性試験A法にて、床材に膨れや破れが発生しにくい床材です。耐動荷重性が求められる場合は、必ず適切な接着剤の選定が必要です。		タイル端部をラウンド状に加工することで、印刷面を端部まで生かしたリアルな目地の仕上がりになります。
	JIS A 1454 滑り性試験にて、乾燥状態・水+ダストのそれぞれの場合で優れた防滑性が確認された床材です。		タイル端部により深いラウンド形状を加工した、丸みを帯びた独特の目地表現です。
	厚みを持つ発泡構造により、転倒時の衝撃を緩和し安全性を高めています。JIS A 6519 に準拠した床の硬さ試験でも他の床材と比較して衝撃吸収性が優れています。		タイル端部に面取り加工していないためフラットな目地の仕上がりになります。
	床材表面に加工している消臭剤が、ペット臭やトイレ臭、生ゴミ臭など気になるニオイの成分と化学吸着し、消臭性能が長持ちします。		表面クリア層の厚みを表しています。
	ISO 21702 抗ウイルス性試験にて、試験片にウイルス懸濁液を滴下し、99%以上の抗ウイルス効果が確認された商品です。		開放廊下やバルコニーなど屋外で使用可能な床材です。
	抗菌試験 JIS Z 2801の結果に基づき、抗菌活性値2.0以上をクリアした商品です。		フラットなのにすべりにくい。車椅子やベビーカーの移動もスムーズです。
	抗菌試験 JIS Z 2801の結果に基づき抗菌活性値2.0以上をクリアした商品です。基布に抗菌加工を施しています。		汚れが取りやすい。すべりにくさと汚れの取りやすさを両立しました。
	JIS Z 2911かび抵抗性試験にて、試験片に胞子懸濁液を接種し、4週間放置した結果、肉眼および顕微鏡下でかびの発生が認められなかった床材です。		床材ノンスキッドと階段用ノンスキッド・ステップで同柄同色もしくは類似色があります。
	安全性・持続性に優れた防ダニ加工を基布に施したカーペットです。		消防法施行規則に基づく防火性試験に合格したカーペット等を示すマークです。
	日本産業規格「JIS A 5705 ビニル系床材」に定められた性能を満たしています。		パイルやラテックス等に帯電防止加工をしたカーペット、又は繊維自体に制電性能を有した素材を使ったカーペットです。
	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されたグリーン購入法適用商品です。		(公財)日本環境協会エコマーク事務局の審査に合格した商品に使用できるマークです。

取扱上のご注意

保管上のご注意

- 運搬途中で折らないでください。折りジワが残ったり、施工後の「伸び」の原因となったりする可能性があります。
- 雨水等による水濡れを避けてください。変形、変質、変色、汚染、たわみやパイルの損傷等の原因となります。
- フロテックスシートは、梱包を解かず、平坦な場所に寝かせて保管し、上にもものを積載しないでください。
- スタイルキットプラスは、梱包を解かず、平坦な場所にずらさず保管してください。また、積み過ぎはパイルの損傷等の原因となります。

使用上のご注意

- フロテックスシートを木床等滑りやすい床面に置き敷きする場合は、すべり止めシート(別売)、すべり止めテープ(別売)等をご利用ください。
 - フロテックスシートやスタイルキットプラスを置き敷きする時は、置き敷きした部分の床面と置き敷きしていない部分の床面同士で色差が生じる可能性がありますので、同じ場所で使用する場合は、定期的置き敷きする位置を変えたり、下地となる床面を拭いたりしてください。
 - ロボット掃除機を使用する場合は、掃除機メーカーの取扱い説明書に従って使用してください。
 - 下地の床面をワックス掛けした後は、完全に乾燥させてから敷いてください。
 - スタイルキットプラスを、ワックスが塗布されている下地で使用する際、はがした時に商品および見切り材の吸着材が床面に残る場合があります。残った場合は濡れた布等で拭き取ってください。(ワックスによっては取れにくい場合もあります。)
 - 市販の消毒液・除菌剤を使用の際は、風合いを損ねる場合があります。消毒液・除菌剤メーカーの取扱い説明書に従って使用してください。
 - 床暖房を使用する際、温められることにより、素材特有のニオイが生じる場合があります。ニオイが気になる方は使用を避けてください。
 - 床暖房・ホットカーペット等の上で使用すると、床暖房・ホットカーペット等の昇温に時間を要します。
 - 床暖房・ホットカーペット等の使用に際しては床暖房・ホットカーペットメーカーの取扱い説明書に従ってください。
 - フロテックスシートのたわみ、めくれ、ジョイントのほつれ等が生じた場合は、即座に補修してください。放置しておくこと全体に影響がおよび、美観を損なうほか、転倒事故を招く可能性があります。特に階段でのたわみ等は、つまずきによる転倒事故に繋がりがやすき注意が必要です。
 - スタイルキットプラスのはがれ、反り、膨れ等が生じた場合は、即座に補修してください。放置しておくこと全体に影響がおよび、美観を損なうほか、つまずきによる転倒事故を招く可能性があります。
 - 直射日光の当たる場所では、パイルが変色する可能性があります。必ずカーテン、ブラインド等で日よけをしてください。
 - パイル素材には固有のニオイがあります。特に新しく施工した際はニオイが発生しやすいので換気を心がけてください。
 - オゾンが発生させる空気清浄機が使用される場所や窒素酸化物ガスの影響を受けやすい場所等ではパイルが変色する場合があります。
 - 巻き癖が残っている場合がありますが、時間の経過とともに解消します。
 - 結露はパイルを変色させたり、カビを発生させたりする原因となります。こまめに換気する等、結露を防ぐ工夫をしてください。
 - ゴム製品や家具等の保護用ゴム材、塗料、防菌剤、防虫剤等によって、商品が汚染されて変色を招くおそれがあります。
 - 家具の脚やハイヒール等の突起物による局部荷重はへこみ跡やフェルト部分の損傷の原因となります。
 - スタイルキットプラスは、急激な室内温度変化の影響や、下地の床材表面のテクスチャーの種類によって、吸着加工の跡が残る可能性があります。
 - 勢いよく床材に乗らないでください。床材がすべって転倒するおそれがありますので、特にお子さまにはご注意ください。
- ### メンテナンスについて
- フロテックスシート、スタイルキットプラスは洗濯機や乾燥機は使用できません。クリーニング(水洗い、ドライクリーニング)によって、パイルの風合いや色相の変化、裏貼材の剥がれ、寸法の変化を起こす場合があります。
 - スタイルキットプラスは、汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたもので洗い流し、よく乾かしてからもとの位置に戻してください。汚れがどうしても落ちない部分は新しいタイルと交換してください。
 - 定期的掃除機をかけてください。一部商品は特性上遊び毛が発生しやすいため、掃除機の回転ブラシは使用せず、吸引を主体に行ってください。
 - 汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたものでたくように拭き取ってください。洗剤を使用した場合は、かたく絞ったタオルで水拭きしてください。
 - 塩素系の洗剤や化学薬品を使用すると、パイルが変色するおそれがあります。
 - 汚れが付着したらできるだけ早く除去してください。時間が経過するほど、除去しにくくなります。
 - 濡れたまま放置すると変形、変質、変色、カビの発生、裏材の剥離が生じる場合があります。

拭けるキッチンマット、たたみタイル45 取扱上のご注意

選択上のご注意

- 屋内用の床材です。屋外や半屋外では使用できません。
- 一般家庭用ですので、不特定多数が利用する公共施設等での使用はお控えください。
- 拭けるキッチンマットとたたみタイル45は置いて使用する家庭用の床材です。本来の用途以外に使用しないでください。
- 写真と実際の商品では色や質感が異なる場合がありますが、ご了承ください。
- ご使用後不要になり廃棄する場合は、各自治体のルールに従って廃棄してください。

運搬ならびに保管上のご注意

- 拭けるキッチンマットはロール状に巻かれた状態になっています。梱包を解いた時に巻きシワが残っていることがあります。時間の経過とともに徐々に解消されます。
- たたみタイル45はタイル形状の床材です。保管の際は立てかけずに置いて保管してください。

施工上のご注意

- 拭けるキッチンマットはフローリングなど既存の床の上に置いて使用するものです。接着剤を用いて施工して使用するものではありません。
- たたみタイル45は裏面にすべり止めテープを貼り付けてご使用ください。すべり止めテープは必ず指定のテープをお使いください。
- すべり止めテープには表裏があります。粘着面をタイル裏面に貼り付けてください。
- たたみタイル45は柄の向きがあります。同一方向に並べると色差などが気になることがありますので、交互に90度方向を変えて貼る市松貼りをおすすめします。
- たたみタイル裏面にすべり止めテープを均等に貼り付けてご使用ください。テープの長さが十分でない場合、すべり止め効果が十分に発揮されません。



すべり止めテープ GS-50F



維持管理ならびに使用上のご注意

- 床面がぬれているとすべる原因となりますので、商品*を敷くときはよくふき取ってください。
- 勢いよく商品*にのらないでください。商品*がすべって転倒するおそれがありますので、特にお子さまにはご注意ください。
- 商品*を長期間敷いた状態で放置したり、床面にワックス、薬品、水等が付着した状態で使用すると、床面が変色したり、床面に商品裏面の樹脂やすべり止めテープの樹脂が付着する場合があります。特に床面が塩化ビニル系床材の場合や新築の床材、ワックスがけ後のフローリングはご注意ください。週に2回程度、床面をふいて完全に乾燥させ、商品*も良く乾燥させてからご使用されることをおすすめします。
- ロボット掃除機を使用する場合は、掃除機メーカーの取扱説明書に従って使用してください。
- 商品*や床面がぬれた場合は、すぐにふき取ってください。そのまま放置すると、カビの発生や床面の不具合の原因となります。
- 火のそばや高温になる場所での使用はお止めください。
- 洗濯機や乾燥機は使用できません。汚れた場合はぬるま湯や中性洗剤を含ませた布などでふき取ってください。
- 素材固有のおい気があります。購入時には換気をおこない、おい気がこもらないようにしてください。おい気が気になるときは、1〜2日、風通しの良いところで陰干しをするとおい気が低減します。
- コーヒーやしょう油などで汚れた場合はすぐにふき取ってください。時間が経過してからふき取ると、汚染物質によってはシミとなり取れなくなります。
- 重量物が同じ場所に載った状態が続くと、凹み跡が残って取れない場合がありますのでご注意ください。

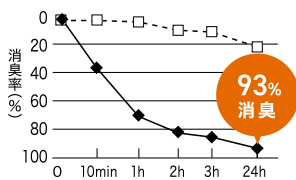


- 拭けるキッチンマットは強い摩擦が生じると、多少の色落ちが発生することがあります。
 - テープなど粘着性のあるものと接触することで、表面が剥離する可能性があります。
 - 長時間直射日光があたると変色、退色することがあります。
 - ペットの爪や金属など鋭利なものとの接触は表面を損傷するおそれがありますのでご注意ください。
- ※商品とは拭けるキッチンマットとたたみタイル45のことです。

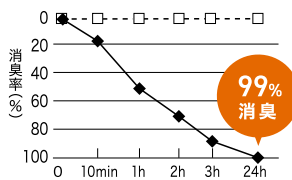
消臭試験

◆ たたみタイル45 □ 空試験 ※下記の値は測定値であり、保証値ではありません。

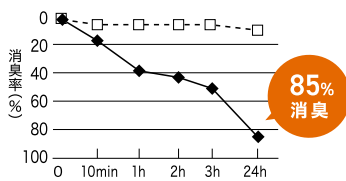
●アンモニア



●硫化水素



●メチルメルカプタン



【試験方法】

- 210mm×160mmにカットしたサンプル2枚を裏面同士で貼り合わせ、端面をアルミテープでシールして検体とします(消臭有効面積=600cm²)。
- 試験袋に検体1枚を入れ、空気3ℓと試験ガスを注入し、所定の初期濃度とします。
- 10分、1時間、2時間、3時間、24時間後にガス濃度を検知管で測定します。
- サンプルを用いずに同様の評価を行い空試験とします。

Sフロア掲載 Naturescape壁紙 選択・施工上のご注意

壁紙

1.リピート

- プリントリピートの商品です。エンボスリピートは柄が合いませんのでお含みおきください。

2.キズ・摩擦

- 商品特性上、表面がキズつきやすいため、施工やメンテナンスの際は慎重にお取り扱いください。
- 特に濃色の商品は、ひっかきキズや糊の拭き残しにご注意ください。
- 出隅・入隅への施工の際に、硬い刷毛や布などで強く擦ると表面が白化する場合があります。
- 表面を過度にこすったり拭いたりすると、ツヤ感が変わるおそれがありますのでご注意ください。

3.下地・糊付け

- 入念な下地処理を行い、糊ダマリに注意して施工してください。
- 糊付け後は大きくたたみ、折りジブに注意して、上積みは避けてください。
- 間接照明の場合など使用環境によっては、より下地が目立つ場合があります。
- 壁紙の表示価格や製品仕様は「2025-2028 FAITH」掲載時のものであり、予告なく改定または廃番になる場合があります。最新の価格や製品仕様については弊社営業窓口までお問い合わせください。

フロアタイル、コルクタイル 取扱上のご注意

選択上のご注意

- 屋内用の床材です。屋外や半屋外では使用できません。
- コルクタイルは天然素材のため、タイルごとに色柄のバラつきがあります。また、日光などにより退色する場合がありますので、カーテンなどで直射日光を遮ることをおすすめします。
- 床材の耐久性は歩行量、使用環境によって異なります。ご購入の際は製品の耐久性以上の用途での使用はお避けください。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認ください。
- 下地からの湿気の上昇や、摩擦熱、火花の飛び散りが予想される場所ではご使用をお避けください。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。またエンボスが深い、あるいは細かいほど汚れが残りますのでお含みおきください。
- 濃色系やフラットな表面形状はキズが目立ちやすくなりますのでお含みおきください。
- 家具の下などの暗所、密閉されるような環境、高温多湿、酸性ガス(NOx、SOx)などの条件が揃うと床材が変色する場合があります。これらの条件が揃わないようご注意ください。やむを得ずそのような箇所に施工する際は濃色系の床材をご選定ください。

運搬ならびに保管上のご注意

- 重量物ですので取り扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取り扱いはフロアタイルの破損だけでなく、傷害や器物破損などを招く場合があります。
- フロアタイルは梱包を解かず平坦な場所に保管してください。積載は高さ70cmを限度とします。積み過ぎ、長時間にわたる直射日光や高温状態、雨水などによる水濡れは、変形・変退色・変質の原因となります。

施工上のご注意

- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認のうえ、施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください。
- 床材や接着剤は施工時の温度に大変影響を受けやすく、低温時は特に接着剤の接着力が弱くなり完全接着までには時間がかかります。理想的な施工温度は15～25℃ですが、それよりも室温が低い場合はジェットヒーターなどの暖房機で現場を暖めるなどして、施工の前夜12～24時間はこのような室温を保ち、床材も箱から出して現場と同様の室温に保管し、なじませる必要があります。室温と床材に温度差があると施工直後だけでなく、後日、目地隙、突き上げなどをおこすことがあります。
- フロアタイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色差のように見えることがあります。
- 各商品別に施工上のご注意・接着剤等が異なりますので、商品掲載ページの施工上のご注意をご参照ください。また施工する場所の環境や下地の状態により、接着剤や施工方法が異なる場合があります。
- 下地は平滑かつ清潔で乾燥して、十分な強度があり、接着力を低下させるような構造的欠陥がないようにしてください。多孔質でもよい下地や粉ぼい下地はプライマー処理を行ってください。不陸は適切なコンパウンドで補修してください。
- 木質系下地の目地部、凹み、釘頭部は適切なコンパウンドで補修してください。床材表面への継ぎ目段差や凹み跡の現出、釘に使用された防錆剤等により床材を変色させる恐れがあります。
- 木質下地に含まれる防虫剤や防腐剤により床材を変色させる場合があります。
- 鉱物ベースの下地(モルタル・コンクリートなど)で、新規あるいは土間床の場合は下地水分を測定してください。コンパウンドや接着剤は床仕上げ材と同様に適切な皮膜、もしくはその他の方法で高い残留水分や下地の湿気から遮断しておく必要があります。
- クッション性の大きな下地にフロアタイルを施工すると沈み込みによる段差や端部のめくれ、層間剥離などの不具合が生じる場合があります。
- 下地にワックス、グリス、油脂類、塗料などの汚れ、ペン、ラッカーによるマーキングなどが残っていると、接着不良や汚染、変色を発生させる可能性がありますので、完全に除去してください。
- 接着の前にタイルを一旦仮置きして、色柄の偏りがいないかご確認のうえ施工してください。
- 接着の際は、床材の指定接着剤をご使用のうえ、接着剤指定のくし目ごてで均一に塗布し十分に圧着してください。
- 重量物の移動が想定される場合、下地水分グレードがI(一般工法レベル)の場合でも、耐湿工法用接着剤をご使用ください。
- 有機溶剤を含んだ接着剤をご使用の際は火気にご注意のうえ、室内の換気にかかり、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行ってください。有機溶剤は引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- 床暖房下地の場合は、下地づくりから含めた施工上のご注意と接着剤のご選定が必要となります。
- コパネ、二重床、塗床、タイルの重ね貼りなどの非吸水性下地にフロアタイルを施工する場合は、耐湿工法用接着剤をご使用のうえ、接着剤の乾燥を促進させる必要があります。
- タイル同士に若干の寸法差が生じる場合があります。目地ずれが大きくならぬうちに調整しながら施工してください。
- 施工中は他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。
- 施工後、接着剤が十分硬化するまでは通行を制限し、直射日光や冷暖房などによる急激な温度変化や、重量物やキャスター椅子などによるしこきなどは避けてください。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので十分な養生期間をとってください。
- 施工直後に養生シートをご使用になった場合、床材と養生シートの間に結露水や水蒸気、溶剤蒸気などがこもり、床材の反り・突き上げなどが生じる可能性があります。養生シートは、通気性のあるものを接着剤が十分硬化してからご使用ください。



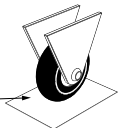
床暖房下地に関する
施工要領書はこちら

- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼り付けしないでください。床材を汚染する原因となります。
- これらの施工条件が満たされない場合は、目地隙や突き上げ、膨れなどを招く可能性があります。これらは美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因となります。
- 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分してください。ビニル床材を燃やすと有害ガスが発生する場合があります。

維持管理ならびに使用上のご注意

- 水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。泥よけマットの設置などで雨水や土砂の持ち込みを防ぎ、持ち込まれた際には即座に除去するようにしてください。床材の摩耗、キズつきを防ぎ美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。
- フロアタイルは熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けてください。
- 温風ヒーター吹き出し口にはマットを設置するなどして、温風が直接床材表面に当たることを避けてください。ホットカーペットなど暖房器具の熱が長時間にわたり加わると、変質や変色、突き上げや膨れの原因となります。
- 重量物や車輪のしこきによって、床材の表面をキズつけたり膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようにしてください。
- 長期間使用しない部屋では換気を心がけてください。結露を招き、カビや臭いの発生、床材の剥がれ・反り・膨れ・突き上げの可能性があります。
- 素材固有のニオイがあります。換気を心がけてください。
- 接着剤が完全に硬化してから水のご使用をできるだけ抑えながら表面の汚れを洗浄し、乾燥した後に樹脂ワックスを塗布してください。洗浄が不足するとワックスとの密着性が悪くなる場合があります。
- 床材の汚れの多くは水拭きでとれます。ほうきや掃除機でゴミを取り除いた後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- コルクタイルの日常のお手入れは乾拭きで十分です。汚れが気になる場所にはワックスメンテナンスをおすすめします。
- トイレでご使用の際は汚れを放置すると尿素焼け等を起こす場合がありますので、こまめに掃除を行ってください。
- しつこい汚れは、クリーナーで除去し、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- 竣工後は使用環境に応じた日常の清掃・洗浄と定期的なワックスがけを行ってください。
- ドラメンテンスを行う際はメンテナンス業者にお問い合わせください。
- 長時間直射日光があたる場所では変退色や突き上げを招く可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。
- 家具やハイヒール等の局部荷重により凹み跡が残る場合があります。
- インクやソース、化学薬品などをこぼしたときは、すぐに濡れたぞうきんで拭き取ってください。
- 化学薬品や強い作用をもつ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く場合があります。
- 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の反り・膨れ・剥がれ・目地隙などがおこる場合があります。維持管理には十分ご注意ください。
- タイルの剥がれ・反り・膨れ・割れなどが生じた場合、即座に補修してください。放置しておくことで全体に影響が及び、美観を損なうほか転倒事故の原因となります。
- ゴム製品に含まれる老化防止剤、家具の塗料や防腐剤・防虫剤・防蟻剤によって、床材が汚染され変退色する可能性があります。ご使用を避けるか、床に直接ふれないようにしてください。

タイヤ等のゴム製品が床材と接する際は
保護シート(アルミ製・ポリエステル製)
をご使用ください。



フロアタイル機能性マークの一覧

- | | | | |
|---------------|--|-----------------|---|
| 0.3mm クリア層 | 表面クリア層の厚みを表しています。 | 特殊 R目地仕上 | タイル端部に、より深いラウンド形状を加工した、丸みを帯びた独特の目地表現です。 |
| 面取りなし | タイル端部に面取り加工していないためフラットな目地の仕上がりになります。 | 特殊 ラウンド目地加工 | タイル端部に凹凸のある面取り加工を行い、風化した木材や石材の表情を再現します。 |
| クリア層面取り | 表面クリア層のみを面取り加工した、穏やかな目地表現になります。 | 耐汚染試験 | JIS A 1454 耐汚染性試験にて試験片に有効塩素濃度6%次亜塩素酸ナトリウムを滴下し、24時間放置した結果、表面に変化が見られなかった商品です。 |
| 面取り | バックカー層まで面取りすることで、くっきりとした目地が表現されよりタイルのサイズ感を感じられます。 | 抗菌 | 抗菌試験JIS Z 2801の結果に基づき、抗菌活性値2.0以上をクリアした商品です。 |
| 面取り(カラーバックカー) | タイルのカラーに近い色のバックカー層を使用することで、サイズ感とともに自然な目地色を表現することができます。 | 消臭 | 床材表面に加工している消臭剤が、ペット臭やトイレ臭、生ゴミ臭など気になるニオイの成分と化学吸着し、消臭性能が長持ちします。 |
| R目地仕上 | タイル端部をラウンド状に加工することで、印刷面を端部まで生かしたりアルな目地の仕上がりになります。 | グリーン購入法
適応商品 | 再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されたグリーン購入法適応商品です。 |

カーペットタイル 取扱上のご注意

選択・施工上のご注意

- サンプル帳や現品見本、写真見本と商品の色が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- 柄物の商品を流し貼りにする場合、それぞれ柄の出方が異なりますので柄は合いません。
- ライン柄の商品を市松貼りにする場合、デザイン上、コーナーのつき合わせがずれて見えます。
- 防汚マークは商品の防汚性を示す目安です。用途に応じた防汚性カーペットタイルをお選びください。また美観維持のため、日常メンテナンスを心がけてください。
- 歩行マークは歩行頻度に対する耐久性の目安です。用途に応じたカーペットタイルをお選びください。
- 梱包ケースに記載されている品名・色番・ロット・数量をご確認の上、施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください。
- 施工後しばらくは色ムラに見ることがあります。これはパイルの倒れ具合によるものであり、徐々に解消されます。
- 下地は湿気の少ない平坦かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工環境が整わなかった場合、目地隙や突き上げ、膨れ、臭気などをまねく場合があります。
- コンクリート系の下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分(水分率8%以上)があると、バックキングの塩ビ樹脂中に含まれる可塑剤が加水分解し、異臭(アルコール系)が発生する場合があります。施工前に必ず水分率を確認し、水分率が高い場合は充分乾燥させてください。
- 各商品の指定接着剤をご使用ください。
- 目地にパイルを挟まないようにご注意ください。目地隙や段差の原因となります。
- 下地の汚れを完全に除去して施工してください。接着不良のおそれがあります。
- 市松貼り、流し貼りの選択は、各商品ごとの推奨施工方法をご参照ください。
- 推奨施工方法以外の貼り方で施工すると、目地の出方が不自然に目立つ場合があります。施工前に必ずご確認ください。
- ジョイント部にパイルの高低差が生じ、目地が目立つ場合や、施工後、柄の並びに違和感がある場合は、ほかの場所との入れ替えをお願いします。
- オゾンが発生させる空気清浄機が使用される場所や窒素酸化ガスの影響を受けやすい場所等ではパイルが変色する場合があります。
- 素材固有のニオイがあります。特に施工直後は換気を心掛けてください。
- カーペットタイルは繊維と塩ビの商品です。急激な温度変化は目地隙、突き上げの原因となりますので、室温になじませてから施工を開始し、施工中は急激な環境変化のないようにしてください。
- OAフロア上へ施工をされる場合、OAフロアの形状や接地面積に留意して接着剤の塗布量を調整してください。
- 重量のあるキャスター椅子などによる局部荷重はカーペットタイルの伸びや剥がれの原因になります。
- リサイクルパウダー入りPVCバックキングの商品については、製法上裏面が部分的に白くみえたり、多少凹凸があったりしますが、品質に影響を及ぼすものではありません。

保管上のご注意

- カーペットタイルは梱包を解かずに、平坦な場所に、ずらさずに保管してください。積み過ぎや雨水などによる水濡れを避けてください。変形・変色・変質・汚染・パイルの損傷の原因となります。
- 開梱後の段積み保管はパイルつぶれの原因となり、色ムラに見ることがありますのでお避けください。

使用上のご注意

- カーペットタイルの剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は即座に補修してください。放置しておくとも全体に影響が及び、美観を損なうほか、つまづいて転ぶ可能性があります。
- カットパイルは、使用中にパイルの方向が部分的に異なり、雲状の色ムラのように見ることがあります。この現象はカットパイルの性質であり、品質の欠陥ではありません。
- ゴム製品や家具などの保護用ゴム材・塗料・防腐剤・殺虫剤などによって、カーペットタイルが汚染され変色をまねくおそれがあります。
- 家具の脚・ハイヒールなどの突起物、キャスター椅子による局部荷重は、へこみ跡やバックキング部分の損傷、カーペットタイルの剥がれ、パイルへたりの原因となります。
- 長時間直射日光が当たる場所では、パイルが変色する可能性があります。カーテン・ブラインドなどで日よけてください。

メンテナンスについて

- 汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたもので洗い流し、よく乾かしてからもとの位置に戻してください。
- 塩素系の洗剤や化学薬品でパイルが変色するおそれがあります。
- ダストコントロールタイル(DT-1230、DT-1240)については、ダストポケット効果を維持するため、定期的に掃除機でメンテナンスを行なってください。
- 汚れがどうしても落ちない部分は新しいカーペットタイルと交換してください。
- メンテナンスの詳細については、P.560をご参照ください。

カーペットタイル機能性マークの一覧



「脱炭素社会」「循環型社会」「ロングライフ(長寿命化)」への貢献に向けて、リサイクル素材の使用有無や、染色工程の違いによって生じる環境負荷について検証し、自社基準にて5段階に評価しました。



消防法施行規則に基づく防火性試験に合格したカーペット等を示すマークです。



通行量が中程度の場所に適しています。応接間、ホテルの客室、レストランなどの業務用です。



2005年2月からカーペットタイルもグリーン購入法特定調達物品に指定されています。リサイクル材利用率25%以上(製品重量比)を使用した商品につけられます。



「脱炭素社会」への貢献に向けて、自社カーペットタイル基準品と比較して、CO₂排出量を削減する商品に表示しています。



パイルやラテックス等に帯電防止加工をした、又は繊維自体に帯電性能を有した素材を使ったカーペットタイルです。



通行量の多い場所に適しています。学校、病院、商業施設、オフィスなどの業務用です。



エコリーパ環境ラベルは資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの、製品の全ライフサイクルにわたって、LCA(ライフサイクルアセスメント)による、定量的な環境情報を開示する環境ラベルです。



「明るく感じる空間」づくりをサポートする指標として、商品の反射率を表示しています。



ソイルガード(Soil Guard)は、撥水・撥油処理がしてありますので、汚れをうけつけにくくなっています。



JIS A 1454耐汚染性試験にて試験片に有効塩素濃度6%次亜塩素酸ナトリウムを滴下し、24時間放置した結果、表面に変化が見られなかった商品です。



グリーンラベルプラスは、米国のカーペット・ラグ協会「CRI」が定める室内空気環境基準に適合した商品につけられる認証マークです。



JIS A 1454 滑り性試験にて、乾燥状態・水+ダストのそれぞれの条件で優れた防汚性が確認された床材です。



ソイルハイド(Soil Hide)は、繊維の異形構造が、光を反射、吸収、透過させ、汚れが目立ちにくくなっています。



(公財)日本環境協会エコマーク事務局の審査に合格した商品に使用できるマークです。



「循環型社会」への貢献に向けて、再生材を使用した商品に表示しています。



カーペットタイルの耐久性について
製品の素材・パイル目付・耐摩耗性のデータなどから総合的に判断しランク分けしています。

カーペット取扱上のご注意

選択・施工上のご注意

- カーペット・ラグ・フロテックスシートは屋内用です。屋外や半屋外では使用できません。
- カーペットの特性上、若干の寸法誤差が生じる場合があります。
- 歩行マークは歩行頻度に対する耐久性の目安です。用途に応じたカーペットをお選びください。特にピンヒールシューズはカーペットに大きな負荷をあたえますので、商品の選択には十分ご注意ください。
- 防ダニ、抗菌等の表示は加工処理の有無を示しています。カーペット、その他内装材だけでお部屋を完全に防ダニ、抗菌にすることはできません。お掃除や換気等、日常のメンテナンスに配慮してください。また、人体に影響の少ない薬剤を使用していますが、乳幼児が誤って口に含むことのないようご注意ください。
- 防ダニ、抗菌、抗アレルギー、抗ウイルス、消臭等の試験数値は測定値であり保証値ではありません。
- サンプル帳の見本と製品の色、また写真と実際の商品では色や質感が異なる場合がありますが、ご了承ください。実物サンプル等でお確かめください。
- 濃色のカーペットはチリやホコリが目立ちますのでご注意ください。

- 下地から絶えず湿気の上昇がある場所では使用を避けてください。施工後に臭気が発生するおそれがあります。
- 梱包紙に記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認いただき、サンプル帳の見本と照合の上で施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください(生産巾が異なる商品をジョイントすると色違いになります)。サンライム®Ⅱ、サンオスカー®、サンスコッチ、サントパーズⅢ、サンディゴ等の後染め商品ジョイントする際は色違いを防ぐために、ロールの端部分と中間部分はつながりません。
- 天然素材であるウールは、紫外線や酸素に触れることで開封後すぐに若干の色変化を起こす「さらし現象」と呼ばれる特性があります。これは品質上の欠陥ではありません。ジョイントする場合は、同一床面は同日中に仕上げ、数日にわたる場合はジョイント部分に覆いをかける等の対策を行ってください。
- フェルトグリッパー工法の場合はピン先をつぶしてください。けがの原因となります。
- 延伸工具で四方均等にテンションをかけて施工してください。延伸が不十分だと施工後にたわみが発生する可能性があります。

- ジョイントの場合は、パイル抜け防止のため、必ず接着剤で目止めを行ってください。
- ロールカーペットは商品の性質上、自重による圧痕(プレッシャーマーク)がつく場合があります。
- ロールカーペットを置敷きした場合、商品の特性上、若干の寸法変化が発生します。また敷き詰めの場合、フレアや巻き縮みにより、窓際さっちゃんには納まらない場合があります。
- ポーイング現象について**
カーペットは巾方向に若干の蛇行が見られます。製造中の中央部と端部への張力のかかり具合の差によって生じるもので、製法上の特性としてご理解ください。
- 遊び毛について**
パイル組成表示が「ウール・モダクリル・ポリエステル」の商品は紡績糸(短繊維を絡め撚り合わせた糸)を使用しており、その特性上、しばらくの間遊び毛が出ます。また、紡績糸使いのカーペットの日常メンテナンスは、掃除機の回転ブラシは使用せず、吸引を主体に行ってください。遊び毛の出にくいカーペットを望まれる場合はナイロンやポリプロピレン等フィラメント糸を素材としたものやループパイルのカーペットをお選びください。
- くも現象について**
カットパイルは使用中にパイルの方向が部分的に異なり、雲状のムラのように見えることがあります。「くも現象」やシェーディング(日陰・明暗)と呼ばれるものであり、パイルが長く、濃い色合いのカーペットに起こりやすい現象です。これはカットパイルの性質であり、商品の欠陥ではありません。特にウールに代表される天然素材パイル商品はご注意ください。















住宅用カーペットタイル 選択・施工上のご注意

- 住宅用カーペットタイルは屋内用です。屋外や半屋外では使用できません。
- 住宅用途以外では使用しないでください。歩行量の多いところで使用すると、商品の品質に問題が生じるおそれがあります。
- 防汚マークは製品の防汚性を示す目安です。美観保持には日常のお手入れを心がけてください。
- 消臭加工はニオイを軽減する加工であり、効果には個人差があります。
- 防ダニ、抗菌等の表示は加工処理の有無を示しています。カーペット、その他内装材だけでお部屋を完全に防ダニ、抗菌にすることはできません。お掃除や換気等、日常のメンテナンスに配慮してください。また、人体に影響の少ない薬剤を使用していますが、乳幼児が誤って口に含むことのないようご注意ください。
- サンプル帳の見本と製品の色、また写真と実際の商品では色や質感が異なる場合がありますが、ご了承ください。実物サンプル等でお確かめください。
- 濃い色のカーペットはチリやホコリが目立ちますのでご注意ください。
- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認いただき、サンプル帳の見本と照合の上で施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください。
- コンクリート系の下地では使用しないでください。
- 目地にパイルを挟まないようにご注意ください。目地隙や段差の原因となります。
- 下地の汚れを完全に除去して施工してください。接着不良のおそれがあります。
- 貼り方は、商品ごとの推奨施工をご参照ください。
- 推奨施工以外で施工すると、目地の出方が不自然に目立つ場合があります。施工前に必ずご確認ください。
- 下地は湿気のない平坦かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工環境が整わなかった場合、目地隙や突き上げ、膨れ、臭気、はがれ等を招く場合があります。

保管上のご注意




- 運搬途中で折らないでください。折りジワが残ったり、施工後の「伸び」の原因となったりする可能性があります。
- 雨水等による水濡れを避けてください。変形、変質、変色、汚染、たわみやパイルの損傷等の原因となります。
- カーペット・ラグは梱包を解かずに、平坦な場所に寝かせて保管し、上にもものを積載しないでください。
- 住宅用カーペットタイルは、梱包を解かずに、平坦な場所にずらさずに保管してください。また、積み過ぎはパイルの損傷等の原因となります。

カーペット機能性マークの一覧

	消防法施行規則に基づく防火性試験に合格したカーペット等を示すマークです。		JIS A 1454 滑り性試験にて、乾燥状態・水+ダストのそれぞれの条件で優れた防滑性が確認された床材です。
	パイルやラテックス等に帯電防止加工をしたカーペット、又は繊維自体に制電性を有した素材を使ったカーペットです。		厚みを持つ発泡構造により、転倒時の衝撃を緩和し安全性を高めています。JIS A 6519 に準拠した床の硬さ試験でも直貼りの他の床材と比較して衝撃吸収性が優れています。
	パイル糸を糸洗いすることにより、より鮮やかで深みのある色彩が得られます。また防汚効果も高まります。		安全性・持続性に優れた防ダニ加工を基に施したカーペットです。
	英国羊毛を50%以上使用し、英国羊毛公社(BWMB)の品質基準に合格したカーペットです。		床暖房のフローリングの上にも置敷き可能な商品です。
	ソイルガード(Soil Guard)は、撥水・撥油処理がしてありますので、汚れをうけつづけていくなくなります。		ペット臭など気になるニオイの消臭効果がある商品です。
	ソイルハイド(Soil Hide)は、繊維の異形断面構造が、光を反射・吸収・透過させ、汚れが目立ちにくくなっています。		
	抗菌試験 JIS Z 2801 結果に基づき抗菌活性値2.0以上をクリアした商品です。基布に抗菌加工を施しています。		

カーペットの耐久性について(歩行マーク)

製品の素材・パイルの目付・耐摩耗性のデータなどから総合的に判断し、重歩行・中歩行・軽歩行の3段階にランク分けしています。(自社基準)

	通行量の少ない場所に適しています。居間、寝室、子ども部屋などの一般家庭用です。		通行量が中程度の場所に適しています。応接間、ホテルの客室・レストランなどに適しています。		通行量の多い場所に適しています。学校、病院、銀行、オフィスなどの業務用です。
---	---	---	--	---	--

使用上のご注意

- ラグは置敷きですので、ラグ自体が滑り転倒する場合があります。
- 木床等滑りやすい床面に置敷きする場合は、すべり止めシート(別売)、すべり止めテープ(別売)等をご利用ください。(住宅用カーペットタイルを除く)
- ラグの下部分とラグを敷いていない部分の色差が生じる可能性がありますので、同じ場所で使用する場合は、定期的にラグの位置を替えたり、下地となる床面を拭いたりしてください。
- 下地の床面をワックス掛けした後は、完全に乾燥させてから敷いてください。
- 住宅用カーペットタイルを、ワックスが塗布されている下地で使用する際は、はがした時に商品および見切り材の吸着材が床面に残る場合があります。残った場合は濡れた布等で拭き取ってください。(ワックスによっては取れにくい場合もあります)
- ロボット掃除機を使用する場合は、ラグ、掃除機が破損するおそれがあります。掃除機メーカーの取扱説明書に従って使用してください。
- 市販の消毒液・除菌剤を使用の際は、風合いを損ねる場合があります。消毒液・除菌剤メーカーの取扱説明書に従って使用してください。
- 床暖房を使用する際、温められることにより、素材特有のニオイが生じる場合があります。ニオイが気になる方は使用を避けてください。
- 床暖房・ホットカーペット等の上で使用すると、床暖房・ホットカーペット等の昇温に時間を要します。
- 床暖房・ホットカーペット等の使用に際しては床暖房・ホットカーペットメーカーの取扱説明書に従ってください。
- カーペットのたわみ、めくれ、ジョイントのほつれ等が生じた場合は、即座に補修してください。放置しておくことで全体に影響がおよび、美観を損なうほか、転倒事故を招く可能性があります。特に階段でのたわみ等は、つまずきによる転倒事故に繋がりがやすく注意が必要です。
- 住宅用カーペットタイルのはがれ、反り、膨れ等が生じた場合は、即座に補修してください。放置しておくことで全体に影響がおよび、美観を損なうほか、つまずきによる転倒事故を招く可能性があります。
- パイルがほつれた場合、ほつれの伝線を防ぐために必ずハサミでカットしてください。
- 直射日光の当たる場所では、パイルが変色する可能性があります。必ずカーテン、ブラインド等でよけをしてください。
- タフテッドカーペットに使用している合成ゴム(ラテックス)やジュート(麻)はニオイを発生させることがあります。数日間十分な換気を行うことで解消されます。
- パイル素材には固有のニオイがあります。特に新しく施工した際はニオイが発生しやすいので換気を心がけてください。
- オゾンが発生させる空気清浄機が使用される場所や窒素酸化物ガスの影響を受けやすい場所等ではパイルが変色する場合があります。
- 結露水はパイルを変色させたり、カビを発生させたりする原因となります。こまめに換気する等、結露を防ぐ工夫をしてください。
- 天然素材であるウールは、素材の性質上、色落ちする場合がありますのでご注意ください。
- ゴム製品や家具等の保護用ゴム材、塗料、防腐剤、防虫剤等によって、商品が汚染されて変色を招くおそれがあります。
- 家具の脚やハイヒール等の突起物による局部荷重はへこみやフェルト部分の損傷の原因となります。

メンテナンスについて

- カーペット・ラグは洗濯できません。クリーニング(水洗い、ドライクリーニング)によって、パイルの風合いや色相の変化、裏貼り材の剥がれ、寸法の変化を起こす場合があります。
- 住宅用カーペットタイルは、汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたもので洗い流し、よく乾かしてから元の位置に戻してください。汚れがどうしても落ちない部分は新しいタイルと交換してください。
- 定期的に掃除機をかけてください。一部商品は特性上遊び毛が発生しやすいので、掃除機の回転ブラシは使用せず、吸引を主体に行ってください。
- 汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたものでたたき拭き取ってください。洗剤を使用した場合は、かたく絞ったタオルで水拭きしてください。
- 塩素系の洗剤や化学薬品を使用すると、パイルが変色するおそれがあります。
- 汚れが付着したらできるだけ早く除去してください。時間が経過するほど、除去しにくくなります。
- 濡れたまま放置すると変形、変質、変色、カビの発生、裏材の剥離が生じる場合があります。

サンインディゴ 施工上のご注意

■商品の特徴

商品の染色リビートはタテ360cmヨコ180cmとなります。ランダムな柄表現にするため特殊な染色方法を用いており、ジョイント施工の際、柄が正確に合いません。グラデーション部分が色ムラに見えることがありますが、デザイン上の特性としてお含みおさください。



グラデーション部分

■施工上のご注意

①ジョイントの際は、ロール巾端部同士でのジョイントを行ってください。ロール巾端部以外でのジョイントはラインが見えることがあります。



ロール巾端部同士をジョイントした場合

②ロール巾同士のジョイントは避け、ジョイント前に必ずライン確認を行ってください。ジョイントラインが目立つ際には両端部を1列ずつカットすることで緩和されます。



ロール巾同士をジョイントした場合



ハイループ同士をジョイントした場合

③胴継ぎジョイントはタテの染色リビート360cmの位置で行っていただくことで、ジョイントラインが緩和されます。



タテリビートを合わせてジョイントした場合 ※柄が正確には合いません。



リビートを合わせずジョイントした場合

ベンリダイン 取扱上のご注意

選択上のご注意

- 各種内装材に適した接着剤を、現場環境(気温、湿度、下地種類、下地状態)や使用目的に応じて選択してください。
- 接着剤の選定にあたってはP.509～510「床用接着剤と床材の組合せ」とP.533～534下地の確認STEP1吸水性と下地の種類・STEP2下地の乾燥状態の判断方法、弊社各種見本帳に記載している推奨接着剤をご参照ください。

運搬ならびに保管上のご注意

- 重量物なので、取扱いは十分ご注意ください。容器に漏れないことを確かめ、落下や乱暴な取り扱いを避けてください。また、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 輸送に関しては、消防法・船舶安全法などの法規に従った運送方法で行ってください。
- 凍結・直射日光を避け、容器を密閉し、5～35℃の室内で保管してください。一度開封した後に保管する場合は、密閉して保存し、早めにご使用ください。
- 幼児・児童の手の届かないところに保管してください。

使用上のご注意

- ご使用前に必ず商品容器・梱包に記載している使用上の注意事項をご確認ください。
- 用途以外には使用しないでください。
- 必要に応じて適切な保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。
- 取扱後はよく手を洗ってください。
- 使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止し、空気の良い場所で安静にしてください。
- 蒸気を多量に吸引したり、誤って飲み込んだ場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した際は多量の水と石鹸で洗い、かゆみや炎症が残った場合は医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合、速やかに流水で15分以上洗ってから医師の診断を受けてください。またコンタクトレンズ着用の場合は、外して洗ってから医師の診断を受けてください。
- 作業衣についた場合、汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合はその前に洗濯をしてください。
- 液がこぼれた場合、乾いた砂やウエスなどで拭き取り回収してください。
- 開封した接着剤は速やかに使い切ってください。
- 残った接着剤・容器は、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処分を委託してください。

施工上のご注意

- 各接着剤指定の工具を使用してください。
- 下地の不陸・段差は必ず補修してください。接着剤での不陸調整は行わないでください。
- 床材によっては接着しにくいものもありますので、試験した上でご使用ください。
- 上澄み液が分離している場合は、よく攪拌してください。
- 所定の塗布量で、均一になるように塗布してください。
- オープンタイム・貼り付け可能時間は接着剤の種類・施工環境(温度・湿度など)によって変わります。一般的に高温時・湿度が低い時・風通しのよい場合・吸水性のよい下地の場合はオープンタイム・貼り付け可能時間は短くなります。特に冬場の低温時にはオープンタイム・貼り付け可能時間は極端に長くなり、接着不具合にもつながります。このような際は、ジェットヒーターなどで現場温度を確保する対策が必要です。
- 床材貼り付け後は十分に圧着してください。圧着不足は、膨れ・反り・突き上げ・はがれなどの原因となります。
- 施工後は接着剤が十分硬化するまでは通行を制限し、直射日光や冷暖房などによる急激な温度変化や、重量物や椅子のキャスターなどの車輪によるごきは避けてください。
- 接着剤が完全に硬化するまでは、表面洗浄・ワックス塗布など水の使用を避けてください。

ゴム系ラテックス形・アクリル樹脂系エマルジョン形接着剤について

- 耐湿型の接着剤ではありません。水分率の高い下地や常に水を使用するような場所には使用できません。
- 低温時(10℃以下)では硬化が遅れ、完全硬化までには6～7日要しますのでご注意ください。
- 他に付着した場合は、きれいな水で直ちに拭き取ってください。

溶剤形接着剤について

- 溶剤形接着剤は、労働安全衛生法・消防法によって取扱い方法・保管方法に制限があります。各種法令をご確認ください。
- 火気のあるところでは使用しないでください。
- 有機溶剤作業責任者立会いの下で使用してください。
- 室内の換気をよくし、換気心に掛けてください。
- 有機溶剤を多量に吸引すると、人体に影響を及ぼす場合があります。
- 下地に塗布した接着剤を容器に戻さないでください。
- 他に付着した場合はペイントうすめ液などで直ちに拭き取ってください。
- 溶剤の揮発ガスなどにより床材に膨れが生じる可能性があります。適切な塗布量・適切なオープンタイムで施工し、貼り付け後はローラーなどで十分に圧着してガス抜きを行ってください。